

於本あるたふの当村院中とありけり古飽
海郡に属し一に院授きなり末社に大神
とあり二社共に浦村大文の社部を守
護す

一外浦親音

武内浦ともいふ

海邊にあり古に音記は多きもの親音を
定めて出帆をに忽ち強風よりあて破
損を其刻に像海庭に入りに年を経り別
當面福院^{高云宗より海田院者寺なり古に}妻帯より一に年法僧とあり
に海邊に雲光をみる翌日被雨して親音を

拾ひより則被堂に安んじ古株に南に
明神とありとを古に神社として親音を
地仏と習合志しる所や古僧を小僧
神社なりといふ(た古より云傳)一に事
ありて古より年より強ていをはる人もあり
もや

一文殊堂

法本村にあり当村の社部を守護する
年神号沙羅の時日吉社日法次當文殊堂
を大神と一に刻し護人浦村社部と守護